

つくばで輝く研究者

YOSHIMATSU Kayo 吉松 嘉代 さん(55)

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター 筑波研究部 育種生理研究室 室長 博士(薬学)



研究室で

福岡県出身。九州大学薬学部薬学科卒業後、1986年に国立衛生試験所に入所し、筑波薬用植物栽培試験場育種生理研究室で薬用植物のバイオテクノロジー研究をする。1993年に博士号(薬学)取得。2011年に産学官連携功労者表彰で厚生労働大臣賞、2017年に日本植物細胞分子生物学学会技術賞を受賞。

なるので安定した供給を目指して研究しています。人工水耕栽培方法を開発し、装置を民間企業、環境制御を大学と共同研究した、薬用植物(甘藷)の人工水耕栽培システム開発が2011年に産学官連携功

て利用される薬用植物資源の保存や栽培、育種の研究開発を行う。生活習慣病などの緩和に役立つ漢方処方の使用が増加しているが、生薬の原料となる薬用植物は栽培期間が長く国内栽培も難しいため、今なお中国などからの輸入に頼ることが多い。薬用成分の組成や含量は自生地や産地、収穫時期、加工条件などにより異なるので安定した供給を目指して研究しています。人工水耕栽培方法を開発し、装置を民間企業、環境制御を大学と共同研究した、薬用植物(甘藷)の人工水耕栽培システム開発が2011年に産学官連携功



薬用植物バイオ苗の継代作業

薬用植物研究で資源開発と保存

員になったのは幸運でした。国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の研究員試験に合格し、一家の事情で大学院進学は諦めましたが、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の研究員になったのは幸運でした。

福岡県久留米市生まれ。小学校で科学好きな先生と出会い理科に興味を持った。中学で卓球、高校ではバスケットボールの練習に明け暮れたが、数学や物理、化学などが大好きな「リケジョ」だった。自宅から通学できる理系学部という希望をかなえ、地元の国立大学薬学部に進学。大学では民族舞踊研究会に入り、世界各国のフォークダンスを習得して仲間と踊りを楽しんだ。大学4年で受験した国家公務員試験に合格し、一家の事情で大学院進学は諦めましたが、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の研究員になったのは幸運でした。

医薬品などの成分として利用される薬用植物資源の保存や栽培、育種の研究開発を行う。生活習慣病などの緩和に役立つ漢方処方の使用が増加しているが、生薬の原料となる薬用植物は栽培期間が長く国内栽培も難しいため、今なお中国などからの輸入に頼ることが多い。薬用成分の組成や含量は自生地や産地、収穫時期、加工条件などにより異なるので安定した供給を目指して研究しています。人工水耕栽培方法を開発し、装置を民間企業、環境制御を大学と共同研究した、薬用植物(甘藷)の人工水耕栽培システム開発が2011年に産学官連携功

労者表彰で厚生労働大臣賞を受賞。2017年には「カンゾウ属植物のバイオナーサリーの構築とその応用」で日本植物細胞分子生物学会技術賞を受賞。大学や地方自治体、企業と協力して植物バイオテクノロジーを活用した薬用植物種の育成に貢献している。



週末に愛孫と遊ぶ

つくばの暮らし
つくばに暮らして33年。研究所で仕事をしながら結婚や子育て、地域イベントにも積極的に参加。家族みんなが伸び伸びと暮らせる環境がつくばの良さだと実感しています。

福岡県久留米市生まれ。小学校で科学好きな先生と出会い理科に興味を持った。中学で卓球、高校ではバスケットボールの練習に明け暮れたが、数学や物理、化学などが大好きな「リケジョ」だった。自宅から通学できる理系学部という希望をかなえ、地元の国立大学薬学部に進学。大学では民族舞踊研究会に入り、世界各国のフォークダンスを習得して仲間と踊りを楽しんだ。大学4年で受験した国家公務員試験に合格し、一家の事情で大学院進学は諦めましたが、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の研究員になったのは幸運でした。

世界のあしたが見えるまち。

つくば市委託事業